

辻村猛 現役引退のお知らせ

19年間の二輪ロードレース活動にピリオド。 新たな人生に向かって、着実な一歩を踏み出す。

この度、TSRでは、所属の辻村猛(34歳)が2008シーズンをもって現役から退くことになりましたことをご報告申し上げます。1992年以降、通算で12年という長きにわたりF.C.C. TSRの顔として、エースライダーとして戦ってくれた辻村猛ですが、今後は一社会人として新たな人生を歩みます。是非従前通りのご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

※別紙にて本人コメントがあります。



辻村 猛 レース活動記録

●1974年7月4日生 / 血液型A型 / 大阪府出身

- 1990年 ロードレースデビュー
- 1991年 鈴鹿・TI英田・中山の各選手権NB125クラスチャンピオン 鈴鹿4耐優勝
- 1992年 国際A級特別昇格 全日本GP125 ランキング9位
鈴鹿8時間耐久 17位(ペア:山岸広幸選手)
- 1993年 世界選手権GP3(125cc) ランキング3位 ★オーストリアGP/優勝
- 1994年 世界選手権GP3 ランキング3位 ★日本GP・オランダGP・イギリスGP・アメリカGP/優勝
鈴鹿8時間耐久 13位(ペア:眞子智実)
- 1995年 世界選手権GP2(250cc) ランキング22位
- 1995年 鈴鹿8時間耐久 15位(ペア:眞子智実選手)
- 1996年 世界選手権GP2 ランキング12位/鈴鹿8時間耐久 22位(ペア:小西良輝)
- 1997年 世界選手権GP2 ランキング7位
- 1998年 世界選手権GP2 ランキング8位
- 1999年 全日本スーパーバイク ランキング8位/鈴鹿8時間耐久 10位(ペア:吉川和多留)
ワールドスーパーバイク 第1ヒート13位、第2ヒート12位
- 2000年 全日本スーパーバイク ランキング10位
- 2001年 全日本スーパーバイク ランキング11位
- 2002年 全日本スーパーバイク ランキング3位 ※1998年~2002年までYAMAHA
- 2003年 全日本JSB1000 ランキング3位(F.C.C. TSR) ★第6戦オートボリス/優勝
全日本ST600 ランキング2位 ★第2戦SUGO・第3戦筑波・第8戦TI/優勝
鈴鹿8時間耐久 予選P.P./決勝3位(ペア:伊藤真一)
- 2004年 全日本JSB1000 ランキング11位
全日本ST600 チャンピオン ★第2戦オートボリス・第5戦SUGO・第7戦TI/優勝
鈴鹿8時間耐久 予選P.P./リタイア(ペア:伊藤真一)
- 2005年 全日本JSB1000 ランキング5位
全日本ST600 ランキング2位 ★第2戦筑波・第8戦もてぎ/優勝
鈴鹿8時間耐久 予選P.P./決勝14位(ペア:伊藤真一)
- 2006年 全日本JSB1000 ランキング7位 ★第5戦SUGO/優勝
全日本ST600 ランキング7位
鈴鹿8時間耐久 予選P.P./決勝優勝(ペア:伊藤真一)
- 2007年 全日本JSB1000 ランキング11位 鈴鹿8時間耐久 欠場(負傷)
- 2008年 全日本JSB1000 ランキング15位 鈴鹿8時間耐久 予選P.P./決勝リタイア(ペア:伊藤真一)

1991年の鈴鹿4耐優勝後、1992年からF.C.C. TSRで全日本ロードレース選手権に参戦、翌年いきなり世界グランプリにデビュー、開幕から2戦目のマレーシアで3位初表彰台、続く日本そしてスペインでも連続3位表彰台を獲得すると、オーストリアでは先輩にしてチームメイトの坂田和人を抑えて初優勝を飾り、一躍注目を浴びる存在となった。1993年、1994年と125ccクラス世界ランキング3位を獲得し、1995年からは250ccクラスにスイッチして世界グランプリに参戦を続け、1997年にはTSRオリジナルマシン「AC26M」で世界ランキング7位。1999年全日本選手権に復帰しYAMAHAファクトリーチームからスーパーバイククラスへ参戦するまでにグランプリ通算5勝をマークした。

2003年から再びF.C.C. TSRに所属し全日本JSB1000とST600にWエントリー。2004年にはST600クラスで自身初となる全日本チャンピオンを獲得。2008年までに全日本JSB1000で2勝、ST600で8勝を挙げ、国内トップライダーとして活躍。また、2003年からは伊藤真一とのペアで挑戦を続けた鈴鹿8耐は、2006年にポールtoウィンで悲願の優勝を遂げた。



TECHNICAL SPORTS RACING

TSR / TECHNICAL SPORTS RACING
TEL : +81 (0)59 378 1455 FAX : +81 (0)59 378 6192
三重県鈴鹿市住吉町6786 〒513-0825
6786 SUMIYOSHI-CHO SUZUKA MIE 513-0825, JAPAN

お世話になった皆様へ…

いつもお世話になっております。

突然ではございますが、私 辻村猛は平成21年1月をもちまして、プロフェッショナル二輪レーサーを引退する決意を固めました。

私も二人の子供の父親となり、下の子もようやく保育園に入る年齢となりました。二輪業界はもちろん、世界的な不況の折、このままプロとして二輪レース界に携わることは、一家の主として、父親として、なかなか難しい状況と判断し、結論に達しました。

また、自ら感じましたことは、ここ数年、マシンの進歩には著しいものがあり、技術的に、また肉体的になかなか追いついていけないという自覚もございました。さらに精神的にもモチベーションが維持できず、実生活のことも含め、重々悩み抜いた末の結論であります。

過去には世界ランキング3位にまで上り詰め、全日本選手権での年間チャンピオン、また2006年には念願の鈴鹿8耐でも優勝を飾ることができ、ライダーとして思い残すことは何もありません。悔いを残すこと無く、二輪レース界から身を引けることは本意であり、多少の負傷はあったものの、五体満足なままライダー人生を終えることができることはこの上ない喜びでもあります。

これからは日本のトップライダーとして生活してきた経験を活かし、一般の社会人として幸せな家庭を築き、二輪業界からは一切身を引き、新たな気持ちで新たな生活を送って参る所存です。

今までの皆様からのご支援を感謝しつつも、今後も一般社会人としてご指導、ご鞭撻を受け賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。

平成 21年1月吉日

辻村 猛